

# 横浜市の予算（令和8年度）

予算とは、1年間の収入と支出の見積りです。  
横浜市の予算は、使い道や収入源の違いから、3つのグループ（会計）に分かれています。



令和8年度予算案  
についてはこちら



令和8年度予算案  
(計数資料編)についてはこちら



主要事業一覧  
についてはこちら

## 予算の特徴

「横浜市中期計画2026-2029（素案）」の初年度として、「市民生活の安心・安全」×「横浜の持続的な成長・発展」に取り組みます。



## 一般会計

2兆993億円 対前年度 +1,149億円 (+5.8%)

	令和8年度	令和7年度	増▲減	増減率
一般会計	2兆993億円	1兆9,844億円	1,149億円	5.8%
特別会計	1兆3,514億円	1兆3,649億円	▲135億円	▲1.0%
公営企業会計	6,193億円	6,387億円	▲195億円	▲3.0%
総計	4兆700億円	3兆9,881億円	820億円	2.1%

## 市税収入

9,779億円 対前年度 +320億円 (+3.4%)

	令和8年度	令和7年度	増▲減	増減率
うち個人市民税	4,863億円	4,711億円	152億円	3.2%
法人市民税	637億円	551億円	86億円	15.6%
固定資産税	3,134億円	3,073億円	61億円	2.0%

※表は当初予算比較 【参考】R7年度決算見込額：9,537億円（対R7当初予算+78億円）

## 市債活用額

1,305億円 対前年度 +278億円 (+27.1%)

- ・ 中期計画（素案）における「4か年活用額：5,300億円」のもと、計画的に活用
  - ・ 令和8年度の内訳：建設債1,305億円、臨財債0億円※  
（前年度：1,027億円、0億円）
- ※臨時財政対策債は、国の地方財政対策を踏まえ、7年度に引き続き、8年度も発行なし

## 財源創出

1,280件 212億円

### ◆主な取組内容

- ・ 「創造・転換」による財源創出（617件、88億円）
- ・ 保有土地の売却（1件、41億円）
- ・ 個人版ふるさと納税、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の推進（18件※、32億円）
- ・ その他の財源創出（644件、51億円）

※個人版ふるさと納税については、個々の寄附件数ではなく、全体を1件で整理。